



ホテルWBFアートステイ那覇では、全客室89部屋中の80部屋に“バーンロムサイ”^(※1)の子どもたちが描いた、色鮮やかで楽しい絵が装飾として使用されています。

ホテルWBFアートステイ那覇は“アートステイ”の名の通り、小さなアーティストたちの絵(アート)が各部屋に用いられています。またそれぞれの絵のイメージに合わせ、部屋のしつらえもコーディネートされており、那覇の滞在をより楽しく快適に過ごせるような空間を提供しています。

子どもたちによって描かれた絵を壁面に再現する手法として、それぞれの絵をデジタルデータ化し、壁紙に出力をしました。

また、素材のテクスチャー感や色の再現性などから、マテリアルはデジタルプリント壁紙『Printerior®SO2』のPRS0101S(スタッコ)が使用されています。

※1「バーンロムサイ」について

バーンロムサイは、HIVに母子感染した孤児たちの生活施設として1999年12月、タイ北部のチェンマイ郊外に設立されました。ホテルWBFアートステイ那覇では、バーンロムサイの子どもたちが描いた絵をアート作品として壁紙などに採用し、ホテルとして孤児たちを支援するという新たな取り組みを始めています。

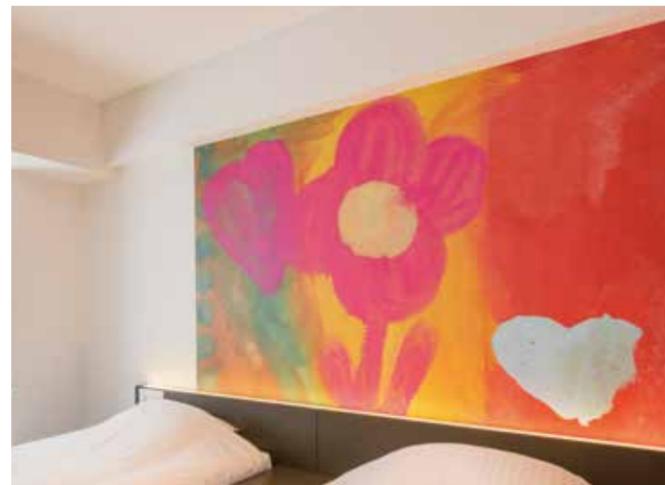
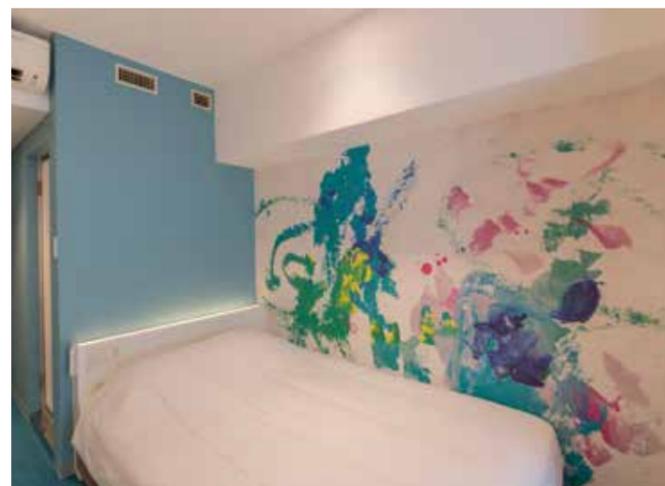


Photo by : Kenji Hotta

Photo by : Kenji Hotta